岩手教区報

第396号
立教188年12月1日
天理教岩手教務支庁
盛岡市馬場町3-40
TEL 019-622-7962
FAX 019-623-9597

年祭活動終盤に思う

県南支部長　吉田眞一

教祖140年祭年祭活動も残り2箇月を切りました。自教会、私個人の心定めもまだまだの状況です。今年を振り返ると、近所や親戚で多くの出直しが続き、葬儀に参列しただけでも25件もありました。

80代の叔父は、子供がなく、奥さんも7年前に亡くなり一人暮らしでした。ある日突然歩けなくなり、救急車で病院へ行くと太腿の血管が詰まっているとの事で内陸の病院を紹介され、すぐ転院しました。その時は、普段と変わらない様子でしたが、次の日、叔父の妹が面会に行った所、酸素マスクを着け心不全と言われ、それから1週間足らずで出直しました。

この度の年祭の旬に「おぢばがえり」が推奨されていますが、なかなか実行出来ておらず、叔父の身上のこともあって、今年5月に実施された「岩手教区おぢばがえり」に参加する事が叶いませんでした。ある先輩の会長さんは、高速道路を使わず、一般道を18時間位掛けて、毎月おぢばへ帰られています。頭が下がる思いです。

東日本大震災で家を流された70代の叔父は、仮設住宅で生活した後、高台に自宅を新築。その2年後船会社を退職し、これから奥さんと2人で生活という時に、ある日突然尿の色が変色して検査入院。その結果、癌が2箇所見つかりました。1箇所は食道と胃の間と、もう1箇所は胆管でした。食道と胃の間の癌を切除したのですが、腹部に管を入れて流動食を入れるという方法で、口から食べられなくなり、そのうち熱が上がり再度入院。今度は肝臓への転移が見つかり、仙台と地元の病院を行き来して、約1年で出直しました。

現在、新型コロナウイルスやインフルエンザの流行により、病院での面会は禁止か制限がかけられています。朝夕のおつとめで入院されている身上者の方を、心の中に思い浮かべて、おさづけを取り次ぐが如く平癒を祈念する毎日です。

今年6月の支部長研修会で中田善亮表統領は、「支部の中で誰よりも勇まなければならない」と支部長の役割を話されましたが、私は全く勇めてなかったと反省しました。さらに、本部の秋季大祭で真柱様は「年祭当日まで勇んでおつとめ下さるように」とお示し下さいました。事情、身上で悩む人のおたすけに、気を引き締め直して真剣に取り組み、残り2箇月余りとなった教祖140年祭の当日まで、粘り強く精一杯つとめて参りたいと思います。

教祖140年祭

信仰随想

遊山（ゆさん）

ノイエヴェルト布教所長・物理学者　吉澤正人

「ようぼく一斉活動日によせて」

天理教の教えには様々な数字が出てきます。「十全の守護」、「八つのほこり」。さらには、人間の創造から旬刻限までの年数や最初に生み出された子数を表す「九億九万九千九百九十九」。三は繋ぎ、七は切る理ともいいます。これは、元の理で、「くにさづち」が三番目に、「たいしょく天」が七番目に呼び寄せられたことに起因します。

世間では、四と九の数字は死と苦を連想させ、使いたがりませんが、前者は「幸せ」、後者は「究極のだめの教え」に繋がり、お道では悪い数字ではありません。教祖も悪い数はないとおっしゃっておられます。

六という数字も、「かんろ台」の形や「六台はじまりの理」などに現れます。この六は物質の世界ではよく現れます。例えば、球体を密に並べると必ず六角形になります（図1）。六角はエネルギー的に安定であり、この構造の元素固体は多いです。雪の結晶も同じ理由で六角形。

しかし、鉄は例外。この形にはならず、サイコロの頂点と真ん中に元素がある配置をとります（図2）。この構造を体心立方格子と呼びます。これに対し、サイコロの頂点とそれぞれの面の中心に元素を配置した構造を面心立方格子（図3）と呼びます。この構造はある角度から眺めると六角形に見え、密で安定なので、この構造の元素も多いのです。

体心立方は面心立方や六方格子より元素同士が離れたスカスカの構造です。密ではないので、エネルギー的には損ですが、鉄は磁石になるので、その磁性のエネルギーの利得が構造の損を上回り、スカスカの状態が安定なのです。ちなみに、面心立方の鉄も存在しますが、この場合は磁石になりません。

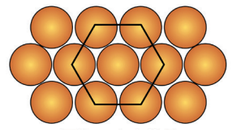

図1　六方格子

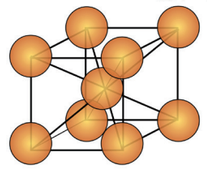

図2　体心立方格子

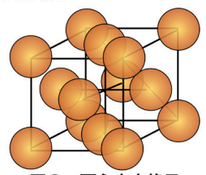

図3　面心立方格子

さて、去る十一月一日は教祖百四十年祭に向かう最後の「ようぼく一斉活動日」でした。参加しながら、私はふと、鉄のことが思い浮かびました。鉄は各元素にはり付いているミニ磁石が一緒に同じ方向を向くことで、自動車をも吊り上げる大きな磁力が生まれます。同じように、普段は遠くにいるようぼくも、陽気ぐらしの目標に向かって「一手一つ」に手を取り合えば、磁石のように大きな力を出すことができるかもしれない。そんな想いと心意気を新たにした活動日でした。

行事予定――【12月分】

1日　役員会議
6日　学生会総会（13時）
〃　学生の集い「まなびば」（総会後～7日）
13日　青年会三年千日の集い（14時）
〃　学生担当委員会例会 zoom（19時30分）
14日　雅楽初心者講習会（10時）
〃　献血呼びかけひのきしん（13時30分）
16日　行事調整・予算会議
20日　女子青年例会（10時）

婦人会

「めんこいマルシェ」報告

教区婦人会・教区女子青年は、10月18日（土）、教務支庁を会場に「めんこいマルシェ」を開催し、女子青年２人、中学生１人、担当者４人が参加した。

午前10時からおつとめを勤めた後、高橋泉・教区女子青年委員長が挨拶。続いて鈴木真喜・教区婦人会主任の「感謝の気持ちで人様に喜んで頂けるひのきしんをさせて頂こう」とのメッセージが紹介された。

その後、和やかな雰囲気の中自己紹介、そしてお菓子のリース作りに取り組み、とても楽しいひと時を過ごした。昼食（ピザ）とデザート（アイス）を美味しくいただき、全員で後片付けを行い、午後２時解散となった。

学生担当委員会

「Work & Talk in岩手」報告

学生担当委員会東北ブロックは、11月８日（土）から９日（日）にかけて、洋野町にぎわい創造交流施設ヒロノットを会場に「Work & Talk in岩手」を開催し、東北６教区から大学生・専門学生21人（内おぢば管内５人）、担当者17人が参加した。

午後１時に会場に集合。道に繋がる同世代の学生が、ワークショップやクイズなどを通して信仰に気付き、今自分たちにできることを考える貴重な時間となった。

夕食後は、参加者の親交を深めつつ、各教区の現状や学生会の活動を行う上での悩みなどを話し合った。また、青年会タイム・婦人会タイムを設け、同性の親睦も深めた。

２日目は朝食後、学生会活動の企画や運営方法などを班毎に話し合った。その後の閉会式では、来年３月の「教祖140年祭学生おぢばがえり大会」に向けて、各教区で活動を広げ、１人でも多くの学生をおぢばへいざない、大会を盛り上げようと誓い合った。

災救隊

「教区研修会」報告

災救隊岩手教区隊は、11月14日（金）教務支庁において「教区研修会」を実施し、10人が参加した。

午後２時に礼拝の後、高橋邦之隊長が挨拶に立ち、引き続き庁舎内外の大掃除を行った。神殿と広間の天井の煤払いをはじめ、全館のエアコン、蛍光灯、換気扇を掃除し、窓ガラス拭きも実施した。

続いての定例会では、来年度の行事計画と予算案、懸案事項などを討議した。夕づとめを勤めた後の夕食会では、今年の活動を振り返りながら、大いに親睦を深めた。

青年会

「三年千日の集い」【12月13日】

教区青年会は、12月13日（土）教務支庁を会場に「三年千日の集い」を開催します。

布教実動（神名流し、路傍講演、戸別訪問）と対話を主に、年祭活動の締めとなるよう勇んだ活動をさせて頂きます。夜には忘年会も行います。一人でも多くご参加下さい。

日　時　12月13日（土）14時～
対　象　青年会員、ＯＢ
参加費　１０００円
※申込み、問合わせは村松委員長まで。

祭事部

「雅楽初心者講習会」【12月14日】

教区祭事部は、12月14日（日）、教務支庁を会場に「雅楽初心者講習会」を開催します。基礎から学べますので、経験者の参加もお待ちしています。

日　時　12月14日（日）10時～15時
会　場　教務支庁
講　師　笙　権谷正一先生
　　龍笛　権谷一平先生
　　篳篥　田中範道先生
参加御供　５００円（昼食代含む）
※管を持っていない方は12月４日までに祭事部（大谷）へご連絡下さい。

献血推進委員会

「クリスマス献血呼びかけ　ひのきしん」【12月14日】

献血推進委員会は、左記のように「クリスマス献血呼びかけひのきしん」を実施します。各学生赤十字奉仕団やライオンズクラブなどの多彩なボランティア団体の皆さんとともに、プラカードを持って献血を呼びかけます。

日　時　12月14日（日）
　　13時半から16時半
場　所　イオンモール盛岡南

第５回「ようぼく一斉活動日」報告

年祭活動の歩みを進める「ようぼく一斉活動日」は、今回の５回目をもって全日程を終了しました。

九戸支部	11月２日	陸中戸田分教会	44人
二戸支部	11月２日	北福岡分教会	53人
盛岡支部	11月１日	教務支庁	46人
三陸支部	11月１日	宮古港分教会	46人
花巻支部	11月１日	花巻分教会	37人
奥州支部	11月１日	岩栄原分教会	38人
県南支部	11月２日	磐井分教会	42人
		教区参加者総数	306人

教区学生会総会

日　時　12月６日（土）13時
場　所　教務支庁
内　容　総立ちおつとめまなび、式典
※はっぴを持参してください。

学生の集い「まなびば」

日　時　12月６日（土）総会後
　　７日（日）13時解散
場　所　教務支庁
持ち物　着替え、筆記具等、他。